事務事業ID

亚成 21 年度 車務車業フネジメントシート

日間

	353	十八 2 十尺	争が争未くかング	・ファン	/ _ [·	平成 2	1 年	4	月 20	日	作成
Į	事務事業名	みなと振興交付金事業		1	実施計画登載事業		□ 合	併建設	是計画質	登載事	業
	政策名	豊かな市民生活を 0 5	宝田する産業の塩間		事業期間			7	5算科[
政	以火口	0 5 显 7 多 1 尺 工 7 2	天坑する産業の派英		学 未知问		会計	款	項	目	事業
政策体系	施策名	地域経済を支える 2 2 2	鉱工業の振興	Ī.	▶ 単年度のみ						
糸	基本事業名	 港湾利活用の促進 0:3:	進と条件整備	Е	】 単年度繰返 (開始	年度~)					
	根拠法令						01	80	04	01	16
	部課名	港湾経済部港湾経済課			期間限定複数年度						
所	課長名	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		[【計画期間】						
属	係名	港湾経済係	電話 0192-27-3111		年度~	年度					
			内線 117	<u> </u>	全体計画欄の総投入量	1					
			詳細。期間限定複数年度事業			全体計	画(期間限	定複数	年度の	み)
		成興文刊 並を活用して美加り 基づいて実施するものである。	るもので、国の認定を受けたみ	よと派哭る	四(入加及沧宋崖削地	」 財	国庫	支出支重	È		
			, 水性を生かした憩い空間創出の	ためのネナ	・会宝験を宝施し、大船		都道展	守県支出:	金		
			みの方向性について検証を行っ			総 投入 事業費 源内訳	坩	拉方債			
・また	、港湾周辺地	区でのイベント時における交通	通渋滞緩和を目指し、シャトルバ	スを活用し	した交通誘導の社会実	入費訳	7	の他			
験を	実施し、適切な	車両誘導方策について検証を	を行った。			量		般財源			
·事	業費は、社会実	験運営のための委託等に支出	出される。				事業費				0
						1 + 1' \	規職員				
						円 1千	延べ業				
						○ 費	人件費	()			0
						トータ	ルコス	ト(A) + (B)		0
1 7	見状把握の部	(DO)									
	事務事業の目										
	手粉(主な活動				活動指標(事務事)	業の活動量を表	す指標)				
		., 度に行った主な活動)				名称				単位	

ア社会実験実施日数

		受計画(今年度に計画し					7	1				
		空間創出のための社会実 査検証	験の実	洒、シャトルバ	ス連行社会実験の	D実施、両社会実	,	ゥ	11016			
							/		対象指標	(対象の大きさを表す指	票)	
		象(誰、何を対象にして			自然資源等					名称		単位
		空間創出のための社会第 トルバス運行社会実験: 港			加者		_	カ	憩い空間創	創出社会実験対象	施設数	箇所
							7	+	シャトルバ	ス利用者数		人
	5港	図(この事業によって、 弯施設の現状、課題、要望等	につい	て検証を行い、出	出来る限り事業実施し		\setminus	ク				
		也区内でのイベント時の駐車	場の配う	置や参加者の導	線について検証を行	うい、交通渋滞の緩	1		成果指標	(対象における意図の達	成度を表す指標)	
朴しる	图	、参加者の安全を確保する。					4/	•		名称		単位
									1 A 🖶 🖽 =		¥1-	
	結	果(基本事業の意図:」	□位の	基本事業に	どのように貢献す	するのか)	\	ヮ	在 会美缺。	アンケートサンプル	数	人
港		設の環境改善及びイベン	小時の	渋滞緩和を行	うことで、港湾施設	段の利活用を回復		シ				
								ス				
(2)	総	事業費・指標等の推移						<u> </u>				
				年度 単位	17年度 (実績)	18年度 (実績)	1	9年	度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (目標)	22年度 (目標)
		国庫支出金 財 海海原県主出会		千 円						7,491		
	重	治 即但的乐义山本		千 円 千 円								
	事業費請	_内 地力惧	1.地方镇									
投	書	⇒ ての他	アーその他									
入		一般財源	一般財源		_					13,501		
量		事業費計 (A)		千円	0	0			0	20,992	0	0
_		正規職員従事人数		人						640		
		延べ業務時間 人件費計 (B)		時間 千円	0	0			0	2,560	0	0
	貝	<u>人計算計 (B)</u> トータルコスト(A) + (B)		千円	0	0			0	2,560	0	0
		1-37V-17 L(V) + (P)	ア	日間	-	-			-	23,332	-	-
		活動指標	1	113	-	-			-	-	_	-
			ウ		-	-		-		-	-	-
			カ	箇所	•	-		-		5 -		-
		対象指標	+	人	-	-			-	25000 -		-
			ク		-	-			-	-	-	-
		CT 用 15 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	サ	人	-	-			-	613	-	-
		成果指標	シ		-	-			-	-	-	-

事務事業ID 1353 事務事業名 みなと振興交付金事業

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

国においてみなとを通じて地域の活性化を図る港湾所在市町村等の取り組みを支援する「みなと振興交付金」制度が平成19年度に創設され、平成20年3月、 岩手県とともに「大船渡港 みなとの賑わいづくり支援事業」を申請し、同採択された。港湾施設の利活用促進に関わる補助事業の導入を模索していた時期でも あった。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか?
・みなと振興交付金制度が創設されたことにより、港湾管理者以外の港湾所在市町村でも国の支援を受けた取り組みが行えるようになった。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 一過性にせず、今後の取り組みに生かしてほしいなどの意見が寄せられている。

2 評価の部(SEE)*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

2	評価の部(SEE) * 原則は事後計	4個、ただし複数年度事業は途中評価
	政策体系との整合性	見直し余地がある 【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映■ 結びついている 【理由】 →
	この事務事業の目的は当市の政策体 系に結びつくか?意図することが結 果に結びついているか?	・施設の現状把握や利用者からの意見等を収集することで、市民が利用しやすい施設づくりに結びつくものである。
目的妥	公共関与の妥当性	□ 見直し余地がある 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映■ 妥当である 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
妥当性評価	なぜこの事業を当市が行わなければ ならないのか?税金を投入して、達 成する目的か?	国の補助事業であり、大船渡港周辺地区の活性化に結びつく事業であることから、官民一体となって取り組むべきものである。
ТЩ	対象・意図の妥当性	見直し余地がある
	対象を限定・追加すべきか?意図を 限定・拡充すべきか?	直接影響を及ぼすものに限定しており適切と考える。
	成果の向上余地	□ 向上余地がある 【理由】□ 向上余地がない 【理由】□ 向上余地がない 【理由】
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	・港湾地区のイベントとしては最大規模の海フェスタ期間を利用した社会実験であり、多くの利用者からヒアリングによる調査等を行っている。
_	廃止・休止の成果への影響	
有効性評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	単年度事業として実施したもので、この検証成果を今後のまちづくりに生かしていきたい。
価	類似事業との統廃合·連携の 可能性	□ 他に手段がある 🥄 (具体的な手段,事務事業)
	目的を達成するには,この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	 厂 統廃合・連携ができる 【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 厂 統廃合・連携ができない 【理由】 → みなと振興交付金事業を活用した事業であり類似事業はない。
	事業費の削減余地	□ 削減余地がある 【理由】 つ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映■ 削減余地がない 【理由】 つ
効率は	成果を下げずに事業費を削減できな いか?(仕様や工法の適正化、住民 の協力など)	社会実験にあたり想定施設、利用者等を勘案して予算を算出し、必要最小限のコストに抑えており、成果を下げずに事業費の削減はできない。
性評価	人件費(延べ業務時間)の削 減余地	□ 削減余地がある□ 削減余地がない□ 削減余地がない□ 削減余地がない□ 削減余地がない
Щ	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより 正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	みなと振興交付金の活用は、岩手県と共同の事業であり、その調整や事業の推進を一人で担当していることから削減余地はないものと考えている。
公平	受益機会·費用負担の適正 化余地	□ 見直し余地がある 【理由】 つ 3 改革·改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☑ 公平·公正である 【理由】 つ
-性評価	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?	港湾を活用してみなとまち大船渡らしい賑わいのあるまちづくりに地元住民や関係機関と協働で取り組むものである。

事務事業ID 1353 事務事業名 みなと振興交付金事業
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)
(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) (2) 全体総括(振り返り、反省点) 国のモデル事業及び採択事業として適切な進捗管理や目標の達成に
目的妥当性
一 有効性
■ 効率性 ■ ■ 適切 ■ □ 見直し余地あり ■ □
公平性 適切 □ 見直し余地あり □
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) (4) 改革・改善による期待成果
左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待で ・ アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア
事業のやり方改善(□ 有効性改善 □ 効率性改善 □ 公平性改善) (廃止・休止の場合は記入不要)
(上記方向性に対する具体的な内容) コスト リー・ コスト リー・ 単年度事業として実施したものであるが、検証結果については、今後のみなとまちづくりに生かしていくものであ 削減 維持 増加
る。
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等
(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)
4 事務事業の2次評価結果 2次評価者 港湾経済課長
(1) 1次評価結果の客観性と出来具合
記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) □ 記述不足でわかりにくい
一 一部記述不足のところがある
▼ 記述は十分なされている □ 歴の変観性火港(2次河価を行った後に松合的に判断して選択)
評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) 「客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
│ 一部に客観性を欠いたところがある 図 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)
(2) 2次評価者としての評価結果 (3) 評価結果の根拠と理由
みなと振興交付金を活用して実施した単年度事業で、みなとの賑わい 目的妥当性 ▽ 適切 □ 見直し余地あり 間づくりを目指し、みなとの親水性を生かした憩い空間創出のための社
有効性 ✓ 適切 ✓ 見直し余地あり ズ 実験を実施し、検証を行ったもの。
<u> </u>
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) (5) 改革・改善による期待成果
┃ 「 原」
事業のやり方改善(有効性改善 効率性改善 公平性改善) 場合には、1次評価の結果も「」で記入する (廃止・休止の場合は記入不要)
事業のやり方改善(有効性改善 効率性改善) 「記入する (廃止・休止の場合は記入不要) (上記方向性に対する具体的な内容) 検証結果を今後のみなとまちづくりに生かしていく。 炭釜 :
事業のやり方改善 (有効性改善 対率性改善) な平性改善) (廃止・休止の場合は記入不要) ((廃止・休止の場合は記入不要) が (大記方向性に対する具体的な内容) 検証結果を今後のみなとまちづくりに生かしていく。
事業のやり方改善(有効性改善 効率性改善 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 検証結果を今後のみなとまちづくりに生かしていく。 一方の性に対する具体的な内容 大釜:
事業のやり方改善(有効性改善 効率性改善 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 検証結果を今後のみなとまちづくりに生かしていく。 一方の性に対する具体的な内容
事業のやり方改善(有効性改善 効率性改善 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 検証結果を今後のみなとまちづくりに生かしていく。 一方の性に対する具体的な内容 大釜:
事業のやり方改善(有効性改善 効率性改善)
事業のやり方改善 (有効性改善 対率性改善)
事業のやり方改善 (有効性改善 対率性改善)

- 3/3 -